

2012 年 12 月 18 日

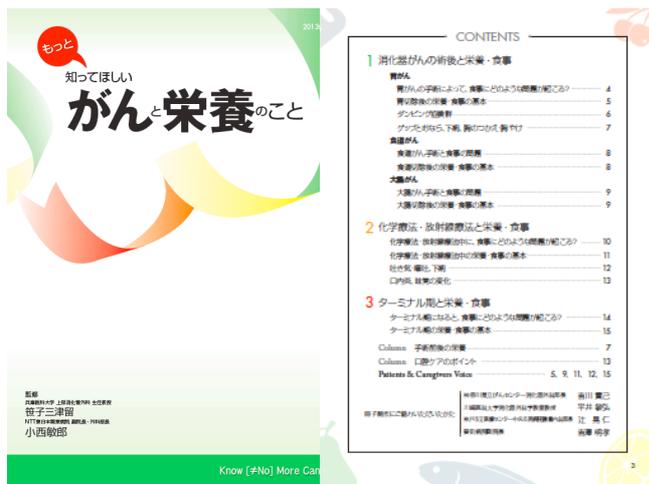
報道関係各位

がん患者さん、家族を支援する冊子『もっと知ってほしい がんと栄養のこと』作成、
がん診療連携拠点病院 397 施設、患者相談窓口等を中心に配布

がん患者・家族主体のがん医療の普及・啓発を目指す NPO 法人がんセンターネットジャパン（以下 CNJ）は、アボットジャパン株式会社、日本イーライリリー株式会社、株式会社毎日放送（MBS）の支援のもと、がんと栄養に関する情報を提供することを目的に、冊子『もっと知ってほしい がんと栄養のこと』（A4 サイズ全 16 ページ）を製作いたしました。今後、全国のがん診療連携拠点病院 397 施設や、それらの施設のがん患者相談窓口に送付し、各団体・企業などが実施するセミナー等でも配布いたします。また、がん医療情報サイト「がんチャンネル」(URL: <http://www.cancerchannel.jp/>) や、各社ホームページなどからもダウンロードできます。

がん患者さんにとって、日々の食事と栄養は特に気になる問題であり、治療中も、美味しく食事を頂くことで、生活の質を保つことにつながります。特に、消化器がんの患者さんは、手術後の体重減少を気にされており、また、化学療法中の患者さんのなかには、吐き気、口内炎、味覚障害等の副作用により食べられないという問題が生じます。

『もっと知ってほしいがんと栄養のこと』は兵庫医科大学 上部消化管外科主任教授 笹子三津留先生、NTT 東日本 関東病院 副院長 小西敏郎先生監修のもと、消化器がんの術後、化学療法・放射線療法後、ターミナル期、それぞれのケースに合わせて、食べ方の工夫やケアの仕方などわかりやすくまとめられています。



特定非営利活動法人がんセンターネットジャパン

1991 年二人の医師により、米国における乳がん患者向け冊子を翻訳・出版・無償配布した事に始まり、その後、各種がん患者向け書籍の出版、NCI キャンサーファックスの翻訳提供（現在終了）、NCI PDQ の翻訳 Web 公開（現在更新終了）、電話・手紙・メール・ファックスでの「セカンドオピニオンコール」等のサービスを提供してきました。2002 年には、東京都より NPO 法人格を取得し、同年、がんセンターネットジャパンホームページが日経インターネットアワードを受賞しました。2007 年 1 月からは組織を一新し、専用事務局を開設し、がん医療の啓発イベントの開催、教育事業、市民へのがん啓発活動を行っています。詳細はホームページをご覧ください。 <http://www.cancernet.jp/>

【ニュースリリースに関する問い合わせ先】

NPO 法人がんセンターネットジャパン 〒113-0034 東京都文京区湯島 1-10-2 御茶ノ水 K&K ビル 2 階
電話 : 03-5840-6072 ファックス : 03-5840-6073 E-mail : info@cancernet.jp